

6 アカハライモリ
Cynops pyrrhogaster

(イモリ科)

兵庫県ランク:要注目
環境省ランク:NT

種の概要

日本の固有種で、北海道を除く本土のほぼ全域の平地や丘陵地に生息するが、関東地方や中部地方の一部では、高地の湿原にも見られる。地域集団の間に遺伝的な分化が著しい。成体は全長70～140mm程度で、ミミズや水生昆虫、カエル類の幼生などを捕食する。



県内における生息状況及びその他特記事項

低地の水田やため池、あるいは丘陵地の河川流域などを中心に、比較的広い範囲で見られるが、多くの場所で減少傾向にあり、伊丹市や神戸市の一部のように、ここ数十年で姿を消した事例も知られている。

写真提供: 松井 正文

保護上の留意点

水田や溜池の減少に伴う生息環境の縮小・喪失や、U字側溝を伴う舗装道路の敷設などによる集団間の分断により、容易に姿を消すことがある。こうした工事を計画するにあたっては、慎重に対象地域での生息状況を調べ、配慮する必要がある。

県内分布

神戸市、宝塚市、三田市、猪名川町、西脇市、姫路市、宍粟市、たつの市、市川町、福崎町、神河町、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町、篠山市、丹波市、洲本市、南あわじ市、淡路市

【執筆者】太田 英利

主要な選定理由

人為性	激減	
	環境	○
	捕獲	△
	遺伝	
特殊性	特殊	
	孤立	
学術性	極限	
	限界	
	希少	

